

トピックス **第1回乳癌学会から**

表1 各種検査法の判定基準

I. マンモグラフィ (微細石灰化像の有無)	
1. まったく認めない	→ (-)
2. 腫瘍内またはその近傍に限局(2 cm 以内)	→ (+)
3. それ以上の広範囲に分布	→ (++) → 温存非適応
II. エコーグラフィ (管状構造物=乳管拡張像の有無)	
1. まったく認めない	→ (-)
2. 不明瞭ながら乳管像を認める	→ (±)
3. 明らかに認める (φ 2 mm 以上に拡張)	→ (+)
III. サーモグラフィ (優位な陽性所見)	
1. 左右非対称性の非血管性高温域	→ 局所高温型
2. 一側性の著しい血管性高温域	→ 熱血管像型
3. 対側より二色以上の乳頭・乳輪部高温	→ 乳頭高温型

表2 切除断端の癌遺残の有無と病理組織学的因子

切断端の癌遺残 frozen paraffin	症例数	腫瘍径 (t) (M±SDcm)	乳頭-腫瘍間距離 (M±SDcm)	広範囲の乳管内進展 (EIC)	多中心性発生	リンパ節転移 (n+)
(-)→(+)	3例	1.4±0.3	2.8±0.6	3例 (100%)	1例 (33.3%)	1例 (33.3%)
(+)→(-)	7例	1.4±0.4	3.2±0.9	6例 (85.7%)	1例 (14.3%)	2例 (28.6%)
(-)→(-)	31例	1.5±0.5	3.5±1.1	15例 (48.4%)	2例 (6.5%)	5例 (16.1%)
合計	41例	1.5±0.5	3.4±0.9	24例 (58.5%)	4例 (9.8%)	8例 (19.5%)

* p<0.05, 他は有意差なし

表3 切除断端の癌遺残および乳管内進展 (EIC) と各検査所見

	症例数	マンモグラフィ 微細石灰化像 (+)	エコーグラフィ 乳管拡張 (+)	サーモグラフィ 熱血管像または 乳頭高温型
癌遺残の有無 frozen paraffin				
(-)→(+)	3例	1例 (33.3%)	3例 (100%)	3例 (100%)
(+)→(-)	7例	4例 (57.1%)	6例 (85.7%)	7例 (100%)
(-)→(-)	31例	5例 (16.1%)	13例 (41.9%)	17例 (54.8%)
管内進展 (EIC)				
(+)	24例	8例 (33.3%)	17例 (70.8%)	18例 (75%)
(-)	17例	2例 (11.8%)	5例 (29.4%)	9例 (52.9%)
合計	41例	10例 (24.4%)	22例 (53.7%)	27例 (65.9%)

* p<0.05, 他は有意差なし

